

第7回連続研修会

「災害復興支援ロードマップ-3」～生活再建をめざして

日時：11月16日（水）18：30-20：30

場所：J I A館1階建築家クラブ

これまで、3月と7月の2回行ってきた災害支援ロードマップ作成のワークショップ。それを受けて今回はこれまでの成果として出来あがったロードマップを再度見返し、俯瞰的に見て、抜けている事は無いか、あるいは今後の纏め方について議論をしました。これまでと同様5名程度を1グループとし、2班に分かれて検討し、最後にお互いの班ごとの成果を発表する方式で行われました。一つの班は、このロードマップを誰のために、どう活用するのかについての議論が中心に行われました。また既存のコミュニティーが希薄になっている昨今、そのコミュニティーがある前提ではなく、コミュニティーに関わり立ちあげて行くところから支援をすることも大事であるとの意見が出されました。別の班からは、大きく以下の3点が指摘されました。まず、暮らしの再建には、仕事の再建が必須で、被災者にとって補助金等の制度の紹介だけでなく、本当に望まれるコンサルティングが必要である事、またまずは雇用を失わないために、事前復興の中に、しっかりBCPについて加えるべきである事。2点目に過去の震災の事例から、改修で住まいの再建を検討される方にとっては、1ヶ月後には業者から出た見積もりの妥当性についての相談が出るだろうという事。最後に住宅ローンの支払い手続きについて、今年4月によりの確な制度が全国銀行協会から「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」として出されたので、その適用問題が同じく1ヶ月後には生じるであろう事。これらをロードマップに加筆することが参加者により確認されました。

また、中田機構長からはロードマップの纏め方について、各項目を1、2、3のように数値化し、合計をとることで現時点での意識の見える化を行うことについての提案がなされ、引き続き検討することとなった。

